新潟県の防疫対策

シミュレーション設定

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

発生地	新潟市秋葉区〇〇
農場	Ｘ農場：酪農　乳用牛３５頭飼養
発症	県外導入牛１頭
症状	「発熱」及び「口腔内に軽度のびらん」
診断	立入検査 ⇒ＰＣＲ検査 ⇒ 陽性
殺処分	２４時間以内に全頭の殺処分を終了
埋却	農場敷地内に埋却場所がある
続発	なし（１件のみの発生）
終息	防疫措置完了後２１日経過 ⇒ 移動制限解除
その他	搬出制限区域内に「新潟市食肉センター」

発生と防疫措置の経過（概要）

新潟県 NIIGATA PREFECTURE

日	時　刻	措　　置
1	15:40	異常家畜の通報
	16:40	立入検査
	17:30	確定検査⇒防疫措置の準備開始
2	5:00	病性決定⇒ 防疫措置開始
3	19:00	発生農場の防疫措置終了
13～	8:00	清浄性確認検査開始
24	0:00	移動制限解除、終息宣言

異常家畜の通報受理　15:40～

新潟県 NIIGATA PREFECTURE

農場または臨床獣医師 → 家保 → 立入検査（原則2時間以内）

POINT

家畜防疫員が現地に到着するまでのお願い！

- 家畜、生乳、糞尿、敷料等は動かさない
- 農場で待つ（電話を受け取れる場所）
- 農場に他人を入れない

- 農場にとどまり、農場を指導する

農場立入検査　16:40～

新潟県 NIIGATA PREFECTURE

材料の搬送

出入り口の指定

農場関係者

獣医師

家保

家保

調査と指示

臨床検査と撮影

検査材料の採取

異常牛

疫学調査

・家畜の移動状況
（過去21日間）
・人の移動状況
（過去7日間）
・輸入粗飼料利用の有無
など・・

要請事項

同居牛

MILK

部外者

動物の隔離・繋留
生産物の移動
関係資材等の移動
部外者の立入

病性の判定

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

臨床検査と採材

口腔内のびらん

家保

発熱
41.2℃

異常牛

よだれ等なし

同居牛異常なし

脚・蹄所見なし

調書と写真の送信

調　書

家保　県畜産課

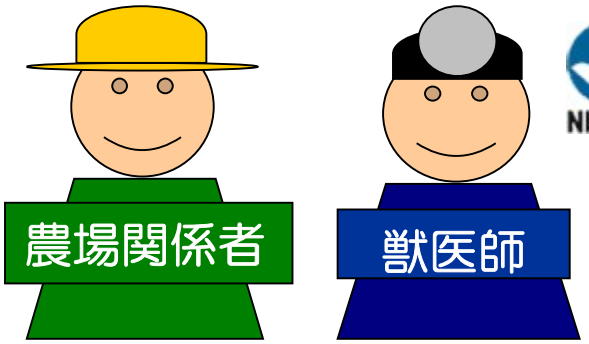
農水省消費安全局
動物衛生課による判定

精密検査が必要

検体の搬送～検査
結果は、明朝５時頃

POINT

病性決定までの対応



新潟県
NIIGATA PREFECTURE

◘ 追加の聞き取り調査

疫学関連情報が中心

◘ 応急的な消毒

◘ 農場の方・診療獣医師の帰宅に際して

☆　家畜防疫員の指示に従ってください。

退出時の身体・車両消毒
帰宅後の入浴や外出の自粛
翌日以降の自宅待機など

応急的な消毒

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

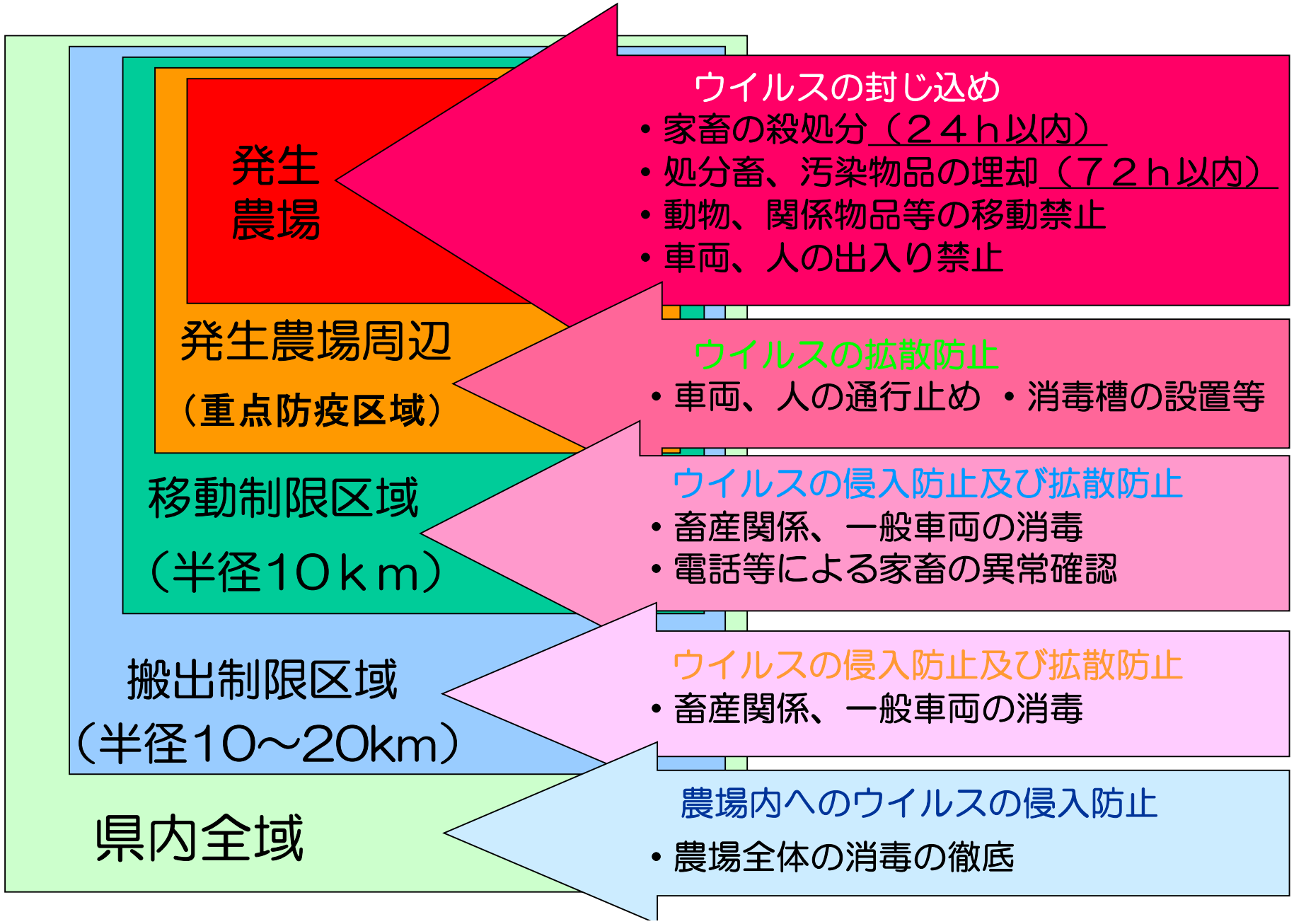
敷地表面（道路含む）畜舎外壁
飼料タンク等付属物　畜舎内　車両

○　使用薬剤（例）

敷地表面：消石灰
畜舎内：塩素系消毒薬
その他：４％炭酸ソーダ液

口蹄疫防疫対策の全体イメージ

新潟県 NIIGATA PREFECTURE



家伝法による防疫措置

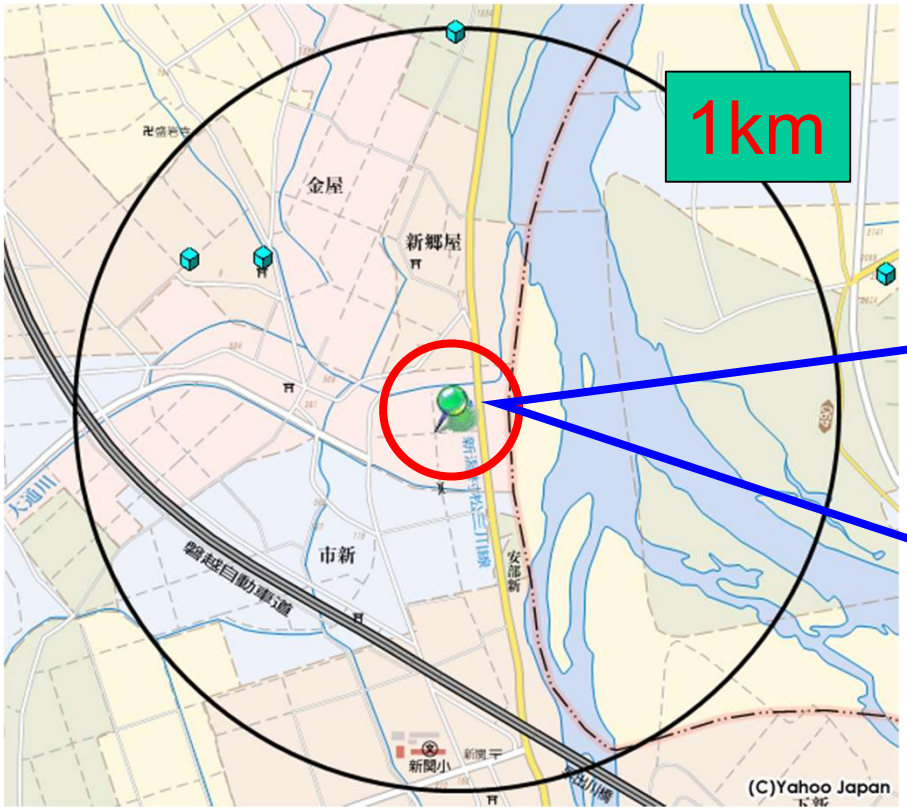
新潟県 NIIGATA PREFECTURE

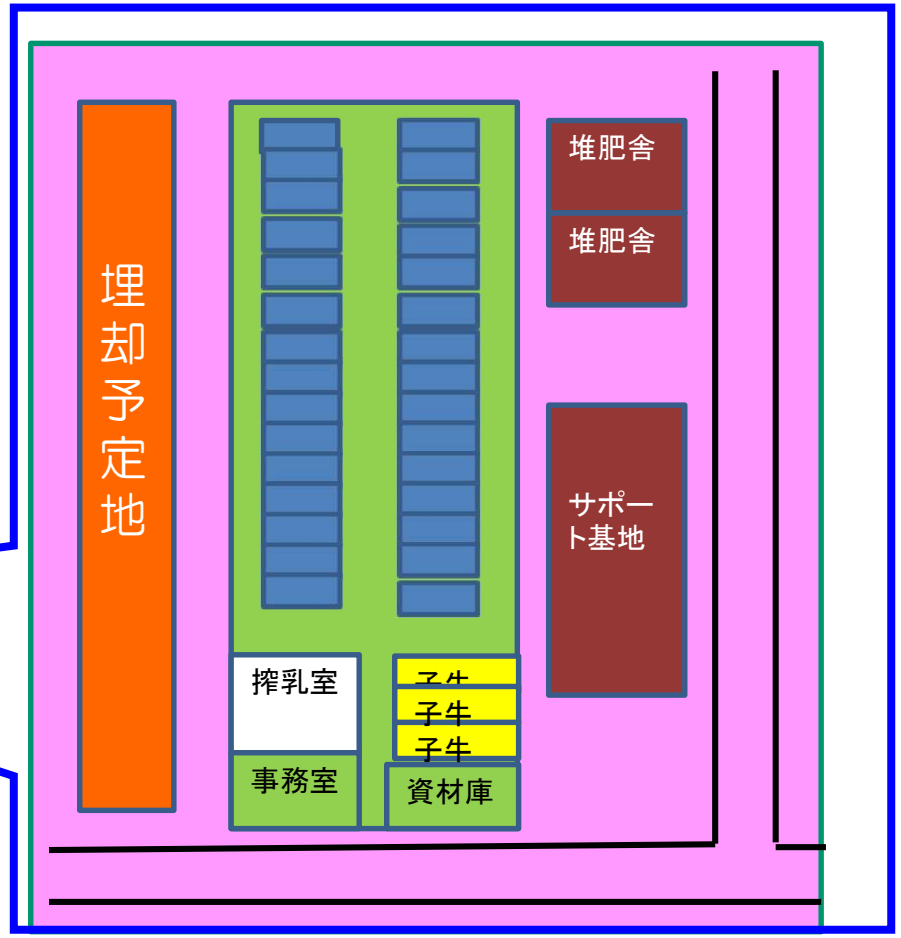
項目	区域・期間	主な内容
殺処分 （法16条）	発生農場 （原則２４時間以内）	疑似患畜の殺処分
埋却 （法21・23条）	発生農場 （原則７２時間以内）	死体・汚染物品
通行遮断 （法15条）	発生農場周辺 72時間以内	原則,すべての人, 物品の移動を禁止
移動制限区域 （法32条）	半径１０ｋｍ以内 殺処分完了後21日間	家畜,生産物,排泄物 資材の移動を制限
搬出制限区域 （法32条）	半径20km以内 初発後21日間	家畜,生産物,排泄物, 資材の搬出を制限
検診 （法31条）	移動,搬出制限区域内の農場 疫学関連農場	異常の有無を確認

農場の概要

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

農 場 名：X農場
経営形態：酪農
飼養頭数：乳用牛35頭（成牛30、子牛5）
住　　所：新潟市秋葉区〇〇〇〇
電　　話：0250−22−oooo
ＦＡＸ：0250−25−oooo





発生農場への防疫措置の概要

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

殺処分

対象	牛35頭（乳用牛成牛30頭、子牛5頭）		
場所	牛舎内	方法	薬殺

埋却

対象	処分牛及び汚染物品	推定量	死体20t　汚染物品100t
場所	農場脇畑 （畜主所有）	埋却溝	1本（50m×4m×3m） 1m盛土する

日程

2日目 （疑似患畜決定当日）	すべての飼養牛の殺処分を完了する。
3日目	死体及び汚染物品の埋却を完了する。 清掃・消毒をし、防疫措置を完了する。

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

作業者集合場所

場所	新潟市秋葉区総合体育館

サポート基地

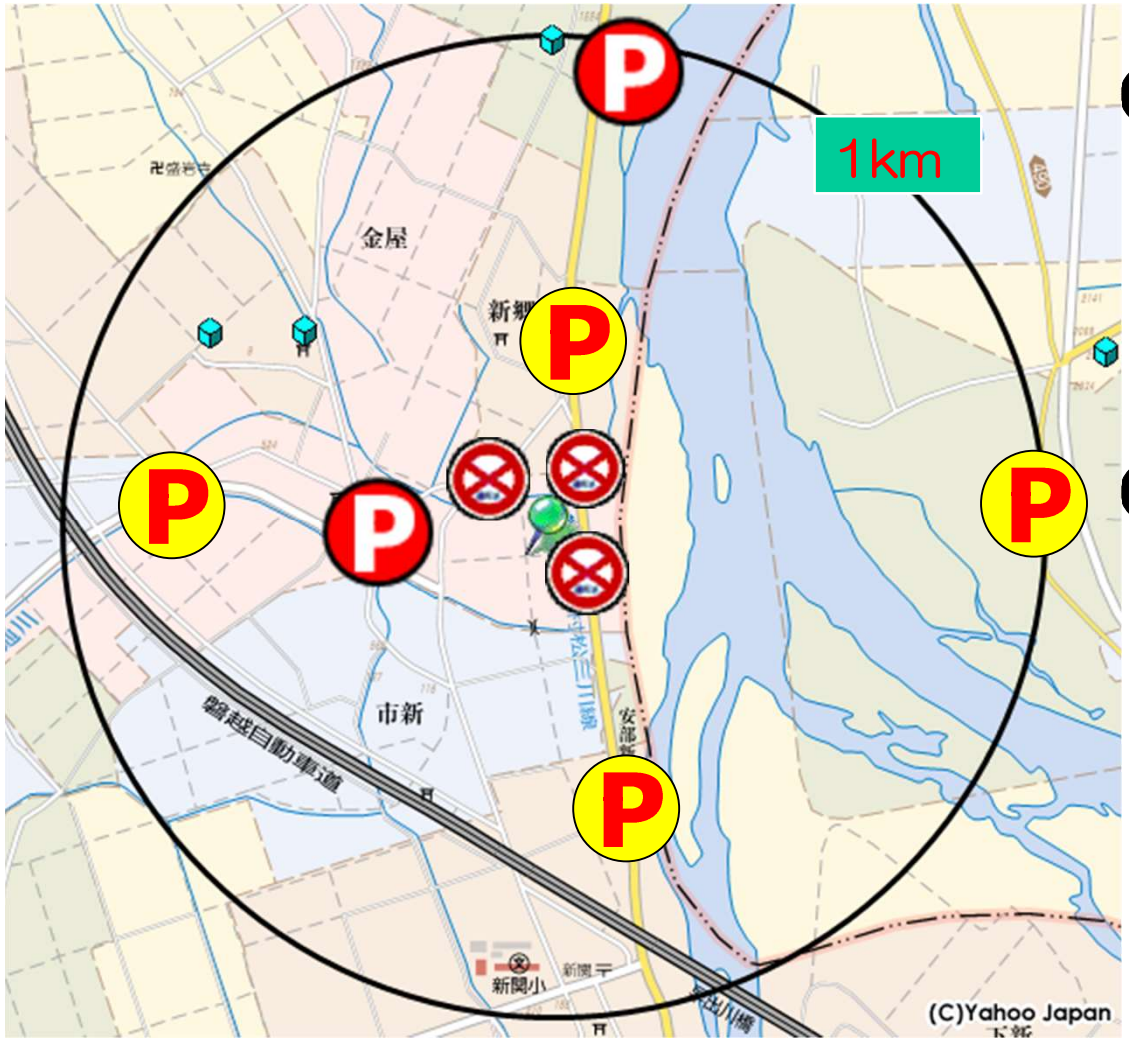
場所	農場隣接の空き地	概要	テント3張り、簡易トイレ等

必要人員（100頭規模あたりの推定人員）

日	区分	家畜防疫員	県職員	市町村職員等	委託業者	計
2日目	農場	6	24	24	4	58
	埋却地	1	9		14	24
3日目	農場	6	24	24	4	58
	埋却地	1	9		14	24
計		14	66	48	36	164

発生農場周囲の防疫措置

新潟県
NIIGATA PREFECTURE



● 通行遮断

半径約100m以内の
道路を通行遮断
（72時間以内）

● 消毒ポイントの設置

発生農場の近隣に
消毒ポイント設置

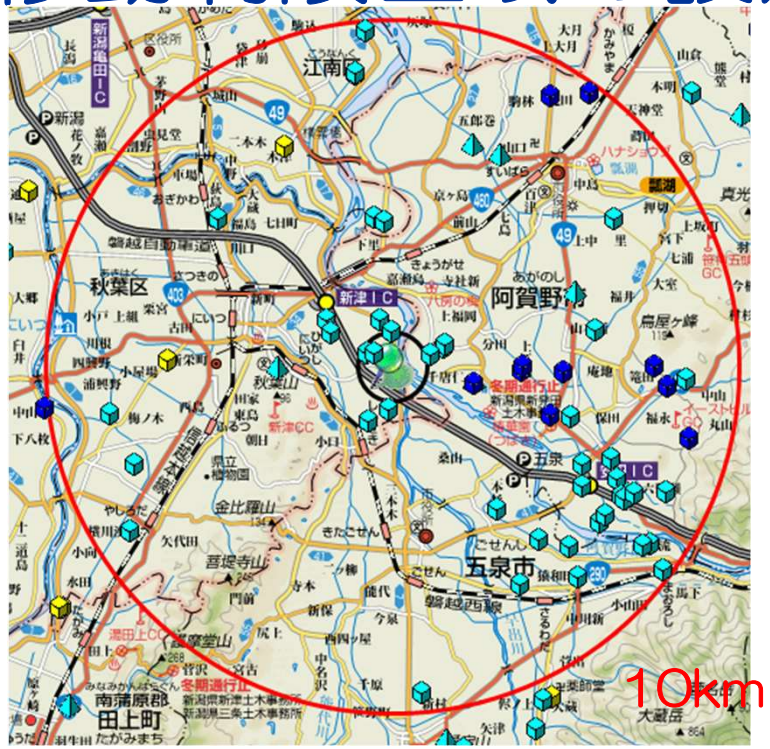
関係車両等（動噴）

一般車両（路上・ﾏｯﾄ）

一般市民の協力も不可欠

移動制限区域の設定

新潟県
NIIGATA PREFECTURE



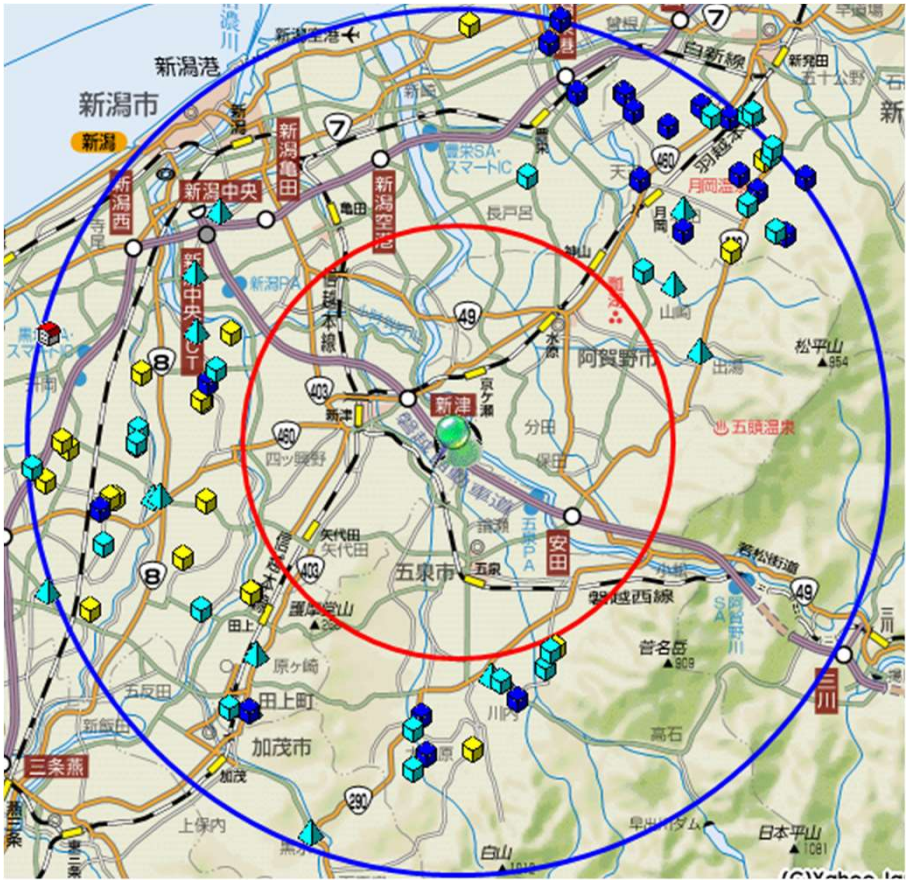
畜種	飼養状況	
	戸数	頭数
乳用牛	47	1,991
肉用牛	14	2,629
豚	3	244
鹿・山羊	5	35
合計	69	4,899

- 半径10km以内の偶蹄類家畜、敷料、飼料、排泄物の移動禁止
  →と畜場への出荷、化製場への移動は禁止
- 近接農場で搾乳された生乳の移動禁止
  →臨床的に異常がない農場は集乳可能
- 制限期間は、殺処分終了後から21日間

搬出制限区域の設定（10km～20km）

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

※と畜場が搬出制限区域に存在



10km～20km

- 半径20km以内の偶蹄類家畜の区域外への移動禁止
- と畜場への出荷、化製場への移動は可能
- 制限期間は、発生確認から21日間

畜種	飼養状況	
	戸数	頭数
乳用牛	22	696
肉用牛	21	2,350
豚	22	24,762
綿山羊・鹿	18	83
合計	83	27,891

消毒ポイントの設置（畜産関係車両）

新潟県 NIIGATA PREFECTURE

● 移動制限区域（半径１０ｋｍ）

畜産関係車両を対象として、あらかじめ選定した設定可能な下記の候補ポイントの中から、半径１０ｋｍのライン付近に消毒ポイントを設置する。

● 搬出制限区域（半径１０～２０ｋｍ）

畜産関係車両を対象として、あらかじめ選定した設定可能な下記の候補ポイントの中から、半径２０ｋｍのライン付近に消毒ポイントを設置する。
その他、高速道路ＩＣ付近にも消毒ポイントを設定する。

● 消毒ポイント候補地条件

○　設置場所：官公庁施設、ＪＡ施設及び道路路側帯等
○　県内全域で、２６２か所の候補地を選定済み

消毒ポイントの設置（一般車両）

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

● 移動制限区域（半径１０ｋｍ）

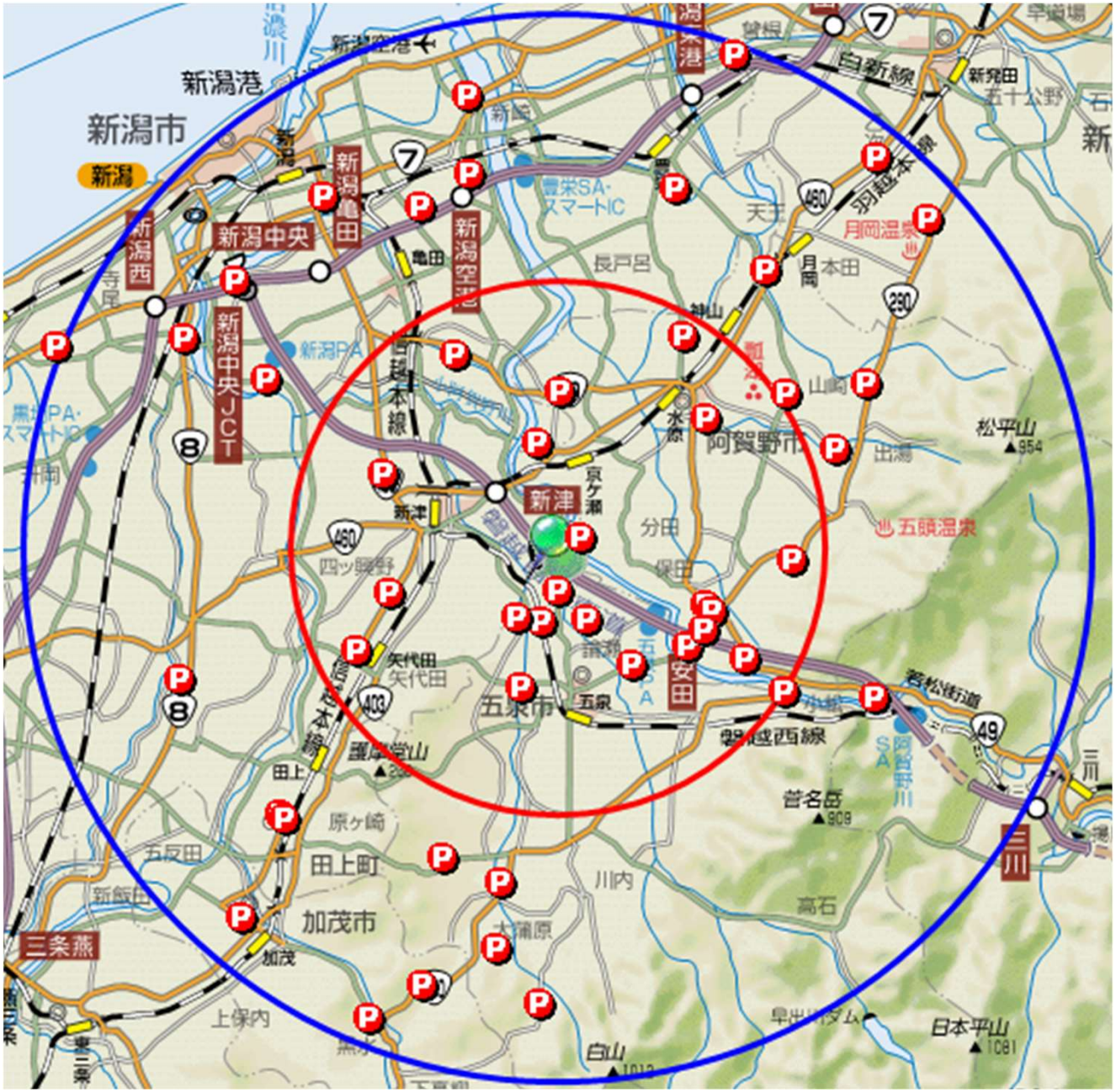
一般車両を対象として、あらかじめ選定した設定可能な候補ポイントの中から、半径１０ｋｍのライン付近に消毒ポイントを設置する（１０～２０か所程度）。

● 概要

○ 市町村などと調整し、幹線道路を主体に選定
○ 基本は、移動制限区域外へ出る車両が対象
（片側車線に消毒マット又は消毒槽設置）
○ 市町村・農協等は、自主的な消毒ポイントを設定できる

消毒ポイント候補地（10～20か所選定）

新潟県
NIIGATA PREFECTURE



関係車両等

候補地から選定

一般車両

候補地から選定
路上消毒マット

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

殺処分

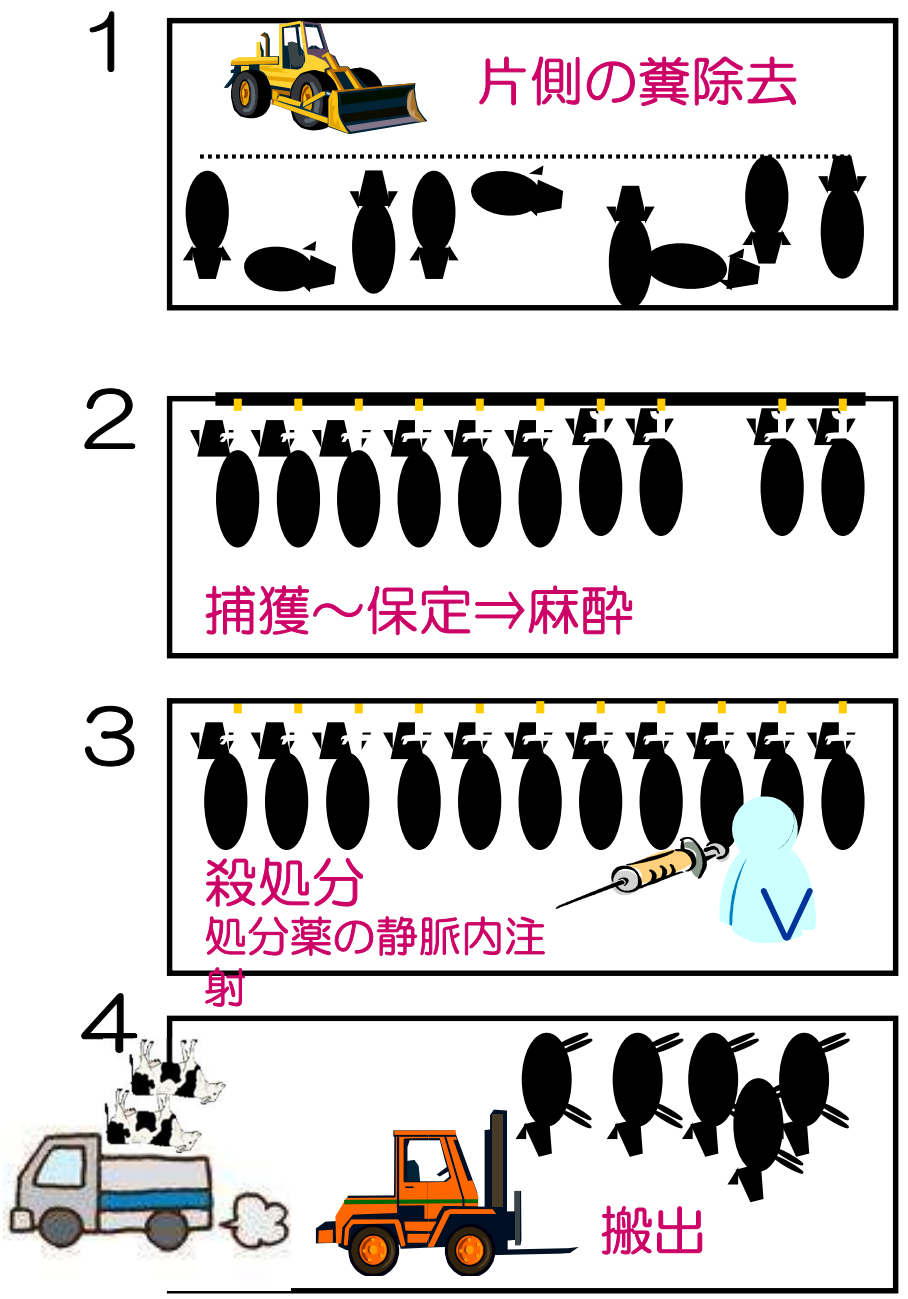
１　殺処分準備
- 評価
- 畜舎内の清掃・消毒

２　牛の保定
- 麻酔（ｽﾌﾟﾚｰで印）

３　頭絡をつけ繋ぎ直す
- 薬殺

４　死亡牛の搬出
- ﾎｰｸﾘﾌﾄで持ち上げ
- ﾊﾞｹｯﾄﾛｰﾀﾞｰに入れ
- 舎外搬出 ⇒ ﾄﾗｯｸに

1時間あたり約20頭

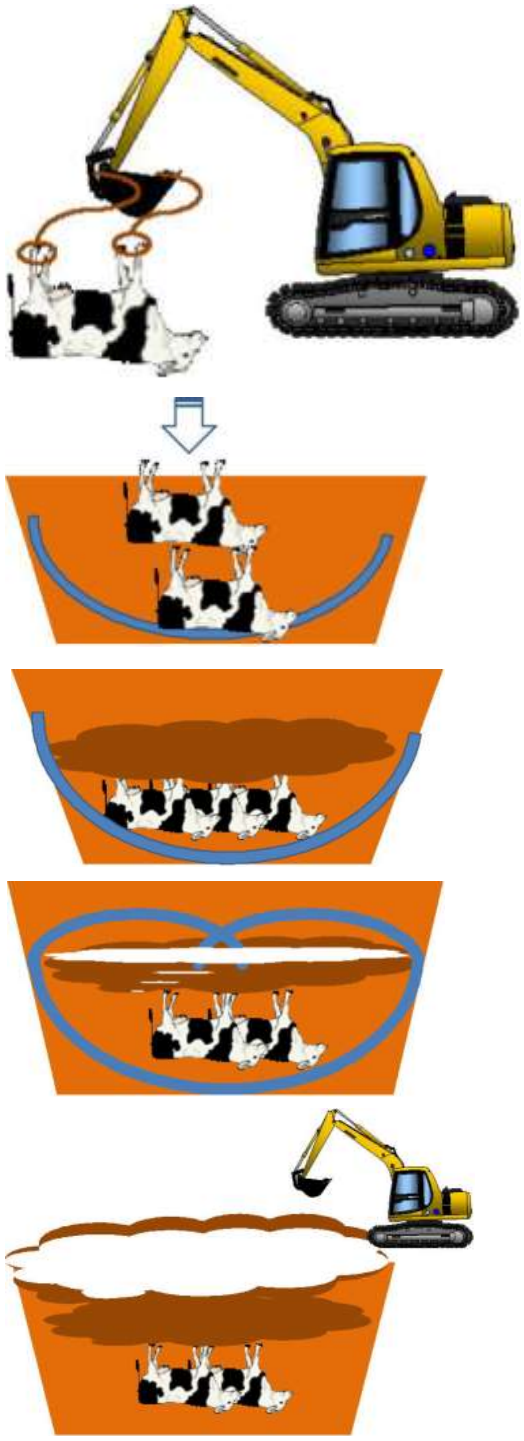


埋却（埋却作業）

- 処分家畜を埋却場所へ搬入
- 処分家畜へロープを掛ける
  ⇒　重機に吊す ①
- 処分家畜の投入 ②

- 投入後の覆土 ③
- 覆土上への石灰散布
- ブルーシートの折り返し ④
- 埋却溝の覆土
- 埋却溝及び周辺への石灰散布 ⑤
- 埋却終了　立て看板の設置

・３日目に汚染物品を埋却し、覆土



清掃・消毒

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

畜舎清掃

畜舎消毒

消石灰散布消毒

経営再開のために

殺処分の終了後、家畜防疫員の指示のもとに
少なくとも１週間間隔で
３回以上的確に実施する。

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

周辺農場・疫学関連農場調査

日	措置事項	内容
2	電話調査	• 半径10km圏内（3km圏内優先）：69戸 • 疫学関連農場：0戸 【異常の有無等】
	立入検査	• 半径1km圏内：5戸
13 ～	清浄性確認検査	• 対象：半径3km以内の農場；16戸 疫学関連農場；0戸 • 方法：臨床検査、採血
12 ～	抗体検査 陰性確認後	• 対象：3～10km圏内の農場；53戸 • 方法：臨床検査

POINT

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

畜産農家の皆様へのお願い

1　異常畜の早期発見・通報
2　万が一の発生に備えて埋却場所の確保
3　農場に出入りした関係者などの記録
4　踏込消毒槽の設置や定期的な畜舎内外の消毒

☆　家畜保健衛生所では、万が一の発生時に迅速な防疫対応をとるため、事前に農場毎の「防疫計画書」の作成に取り組んでいます。

☆　巡回調査時等に農場の見取り図や埋却場所の確認等をさせていただきますので、ご協力をお願いします。